

科目名称:教職実践演習(中・高)					
担当者名:松田 淳、川邊 弘之					
科目群(区分)	開講予定時期	授業形態	必修・選択	単位数	卒業認定・学位授与の方針との関連
教職	4年後期	演習	自由	2	自由科目につき該当なし(自由科目につき該当なし)
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施有り		ナンバリング		16302086
授業概要:大学4年間で学んだ知識と教育実習などで得られた教科指導力や生徒指導力の知識・技能との更なる統合を図り、使命感や責任感に裏打ちされた確かな実践的指導力を有する教員としての資質の構築とその確認を行う。					
到達目標:以下の各項目を確認・習得することを目標とする。 1. 教師としての使命感や責任感、教育的愛情 2. 社会性や対人関係能力 3. 生徒理解や学級経営能力 4. 教科の指導力					
授業計画			準備学習とその所要時間(分)		
第1回 イントロダクション:これまでの学修の振り返りと授業内容についての講義			教職関連科目を総復習しておくこと(120)		
第2回 観察実習・教育実習を通して、教職の意義、教員の役割、職務内容、子どもに対する責任などについてグループ討議			事例を読み、グループで討議する内容を検討しておくこと(90)		
第3回 観察実習・教育実習を通して、教職の意義、教員の役割、職務内容、子どもに対する責任などについてグループ討議<課題レポート提出>			事例を読み、グループで討議する内容を検討しておくこと(90)		
第4回 事例を通して、社会性や人間関係能力についてグループ討議(組織の一員としての自覚、校務運営の重要性、保護者や地域との連携の重要性に対する理解)			事例を読み、グループで討議する内容を検討しておくこと(90)		
第5回 事例を通して、社会性や人間関係能力についてグループ討議(組織の一員としての自覚、校務運営の重要性、保護者や地域との連携の重要性に対する理解)<課題レポート提出>			事例を読み、グループで討議する内容を検討しておくこと(90)		
第6回 現職教員の講義と討議(社会性や人間関係能力について)			第4回、第5回の内容(社会性、人間関係能力)を復習しておくこと(90)		
第7回 現職教員の講義と討議(学校・学級経営について)			学校・学級経営について予習しておくこと(90)		
第8回 学級経営案の作成とグループ討議<課題レポート提出>			前回の講義内容(学校・学級経営)を復習しておくこと(90)		
第9回 教員採用試験において実施された実技・面接について討議			教員採用試験において実施された実技・面接について整理しておくこと(90)		
第10回 教育実習で取り組んだ授業および研究授業について討論(教科の指導力-授業構成員・教材研究力・授業展開力)			教育実習で実施した授業を準備しておくこと(90)		
第11回 教育実習で取り組んだ授業および研究授業について討論(教科の指導力-授業構成員・教材研究力・授業展開力)			教育実習で実施した授業を準備しておくこと(90)		
第12回 教育実習で取り組んだ授業および研究授業について討論(教科の指導力-授業構成員・教材研究力・授業展開力)			教育実習で実施した授業を準備しておくこと(90)		
第13回 履修カルテに基づき個別指導<履修カルテ提出>			履修カルテ1、2、3に記載した評価を確認しておくこと(90)		
第14回 履修カルテに基づき個別指導<履修カルテ提出>			履修カルテ1、2、3に記載した評価を確認しておくこと(90)		
第15回 教員としての資質能力の確認とまとめ			全授業内容を復習しておくこと(120)		
履修に必要な予備知識や技能:各回の授業で次回の授業内容を予告するので、予習しておくこと。教職関連科目を総復習しておくこと。					
課題に対するフィードバック:取り組んだ課題に対して、教員全員で授業中にコメントする。 履修カルテについては、記載された評価に基づいて確認し指導する。13回目の授業では教職科目に関して、14回目の授業では課外活動について確認する。					
評価方法・基準:課題レポート20%、発表・討論内容40%、受講態度(授業への参加度、事前学習)40%					
教科書:使用テキストなし(関連する内容の資料を配付)					
備考:					
実務経験の内容・期間:高等学校教諭(松田淳、36年)、高等学校教諭(川邊弘之、3年)					